

《履修上の留意事項》公認心理師資格取得を希望する者は、2年次以降、学習・言語心理学 も受講すること。

《担当者名》福田 実奈 (mfukuda@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

心理学において学習とは経験による比較的永続的な行動の変容を意味する。我々のほぼ全ての行動は学習の影響を受けるため、学習の原理の理解は心理学において非常に重要である。本講義では、学習の基本原則である古典的条件づけと道具的条件づけを中心に、人の行動が変容する過程について、基礎的な知識に加えて最新の研究までを具体的な実験例に基づき解説する。

【学修目標】

- 学習心理学の分野について、基礎的な知見を身につける。
- 経験を通して人の行動が変化する過程を説明できるようになる。
- 行動主義的な考え方を身につけ、一つの視点として活用できるようになる。
- 様々な行動を変える方法の一つとして、学習心理学の知見を活用できるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	導入 馴化と鋭敏化	学習心理学とは何かを理解する。 講義の概要について知る。 学習心理学の歴史について知る。 馴化の基本性質について理解する。 馴化のメカニズムについて理解する。 鋭敏化について理解する。	福田 実奈
2	古典的条件づけとは	古典的条件づけとは何かを理解する。 様々な古典的条件づけについて理解する。	福田 実奈
3	古典的条件づけの基本法則	古典的条件づけの基本法則について理解する。 接近、時間関係、獲得と消去、高次条件づけについて理解する。	福田 実奈
4	古典的条件づけにおける理論的展開	Rescorla-Wagnerモデルについて理解する	福田 実奈
5	道具的条件づけ	道具的条件づけ研究の歴史について理解する。 オペラント条件づけの基本的現象について理解する。 刺激性制御について理解する。 般化と弁別について理解する。	福田 実奈
6	強化スケジュール	強化スケジュールについて理解する。	福田 実奈
7	強化スケジュールの実験的分析	強化スケジュールの理論について理解する。	福田 実奈
8	強化子の定義	強化子の定義について考える。 道具的条件づけ・強化の原理の応用について理解する。 行動分析とは何かを理解する。 行動を変える様々な方法について理解する。 行動をやめさせる方法について理解する。	福田 実奈
9	逃避と回避	負の強化による行動：逃避と回避について理解する。 学習性無力感について理解する。	福田 実奈
10	選択行動	強化スケジュールが選択に与える影響について理解する。	福田 実奈
11	観察学習	洞察学習について理解する。 観察学習について理解する。 模倣と代理強化について理解する。 モデリングについて理解する。	福田 実奈
12	行動分析学入門	行動分析学の基礎について理解する。 行動主義について理解する。	福田 実奈
13	言語行動	要求言語行動、報告言語行動について理解する。 随伴性形成行動とルール支配行動について理解する。	福田 実奈

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	学習心理学の応用	応用行動分析について理解する。 様々な場面での学習の知見の応用について理解する。 道具的条件づけ・強化の原理の応用について理解する。 自分の行動を変える様々な方法について理解する。 自己制御と衝動性について理解する。	福田 実奈
15	まとめ	全体のまとめとして講義で習った内容を振り返り整理する。	福田 実奈

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

・定期試験100%

(ただし、常識的な態度で受講し、期末試験受験資格を満たす場合に限る)

【教科書】

なし。オリジナルの教材を使用する。

【参考書】

私たちは学習している 行動と環境の統一的理解に向けて

学習と言語の心理学

手を動かしながら学ぶ 学習心理学

メイザーの学習と行動（第3版）

【備考】

各学生がすべての講義に出席することを前提に講義を進める。講義に欠席した場合、各自の責任において、その講義で配布された資料の有無を確認し、次の講義までに適切な対応を取ること。また、欠席回数については各自で責任をもって管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。

この講義は心理科学部臨床心理学科の研究協力者プール・クレジットシステムの対象である(詳細については初回講義時にて説明)。

【学修の準備】

配布資料等を用いて予習する(2時間)。

次回講義までに、前回の講義で用いた資料について、必要であれば内容を補完したうえで、精読し重要項目を中心に暗記する(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

- ・ Google Classroomを通じて学習課題を提示する
- ・ Google Classroomを利用したオンデマンド型授業を行う
- ・ Google formsを通じて学生からの質問、意見を収集し、次回の授業で紹介する。